

先生が感じていた淋しさというのは、きっと自殺してしまっただけで済ませた友人にあると思います。

何故なら、先生は、ずっと裏切られた事を深く心に傷として残していたのに、結局は自分も傷を負わせることになってしまったからです。

元々、家族のお金の問題で、起った親戚とのゴタゴタが原因で、悪人は生まれながらに悪人かのでは無く、あるときに悪人になるという事を理解していたはずなのに、結局、恋愛のもつれにより、周りが見えなくなり、焦って、大切な友人を失うことになってしまったこと(自分で)理解したはずなのに、

「感じている」と思っていました。この話の主人公は、最後の手紙を読みきかたあと、感想を述べませんでした。僕は悪いことを恐ろしくなりました。だから僕は、僕が悪いことを恐ろしくなりました。僕は悪いことを恐ろしくなりました。僕は悪いことを恐ろしくなりました。

「悪人に騙されぬように気をつけろ」という意味ではなく、「自分が悪人にならぬように気をつけろ」という意味だ。たことに気づいたときは、僕の今まで感じてきた、ここでの持ち方を一新する勢いでした。僕も、誰かを裏切らぬよう、自分を律して、冷静に生きていくと、ここに決めました。

非学(非)に重たい内容の感想文になりました。先生は、近代の他者への依存を排除し、自己責任で、心の奥深くまで探っていく。他人との関係を超越して、自分の奥深くへ考察を推し進めた。その孤独に思い至るまで。

次回、提出も待つてます。

この結果、先生は自分も淋しいと思ったりか。自分を「悪人」と思ったりか。悪人は淋しい。悪人は淋しい。悪人は淋しい。悪人は淋しい。

百夏目漱石の名作を選ばました。これを讀もうとした。先生の淋しいことを讀む。先生の淋しいことを讀む。先生の淋しいことを讀む。先生の淋しいことを讀む。

先生の感想文は、先生の淋しいことを讀む。先生の淋しいことを讀む。先生の淋しいことを讀む。先生の淋しいことを讀む。

★本文を書き始める前に、自分の感想の中心とそのような感想を持った理由を手短かに書きなさい。小論文の場合は、自分の最終的な主張とその根拠を手短かに書きなさい。(※細かい字でゴチャゴチャ書かず簡潔に)

感想(主張) 先生が感じた淋しさは、友人にある。理由(根拠) 結局は自分も傷を負わせたことになったから。

◎ 評価欄 (評価の項を時) ① 句読点や符号の打ち方・原稿用紙の使い方 ② 誤字・脱字・表記・丁寧さなど ③ 言葉の自然な用法 ④ 「だ・である」調「です・ます」調の文体統一 ⑤ 段落の設け方 ⑥ 主語・述語・接続詞・副詞の呼応 ⑦ 文脈(話の流れ具合)・文章構成 ⑧ テーマ・課題の読み取りと表現の魅力・簡潔さ・説得力・技巧等、総合的評価

百夏目漱石の名作を選ばました。これを讀もうとした。先生の淋しいことを讀む。先生の淋しいことを讀む。先生の淋しいことを讀む。先生の淋しいことを讀む。

先生の感想文は、先生の淋しいことを讀む。先生の淋しいことを讀む。先生の淋しいことを讀む。先生の淋しいことを讀む。

先生の感想文は、先生の淋しいことを讀む。先生の淋しいことを讀む。先生の淋しいことを讀む。先生の淋しいことを讀む。

先生の感想文は、先生の淋しいことを讀む。先生の淋しいことを讀む。先生の淋しいことを讀む。先生の淋しいことを讀む。

先生の感想文は、先生の淋しいことを讀む。先生の淋しいことを讀む。先生の淋しいことを讀む。先生の淋しいことを讀む。

先生の感想文は、先生の淋しいことを讀む。先生の淋しいことを讀む。先生の淋しいことを讀む。先生の淋しいことを讀む。

先生の感想文は、先生の淋しいことを讀む。先生の淋しいことを讀む。先生の淋しいことを讀む。先生の淋しいことを讀む。